

Drive配信の設定ガイド

ViewFramer

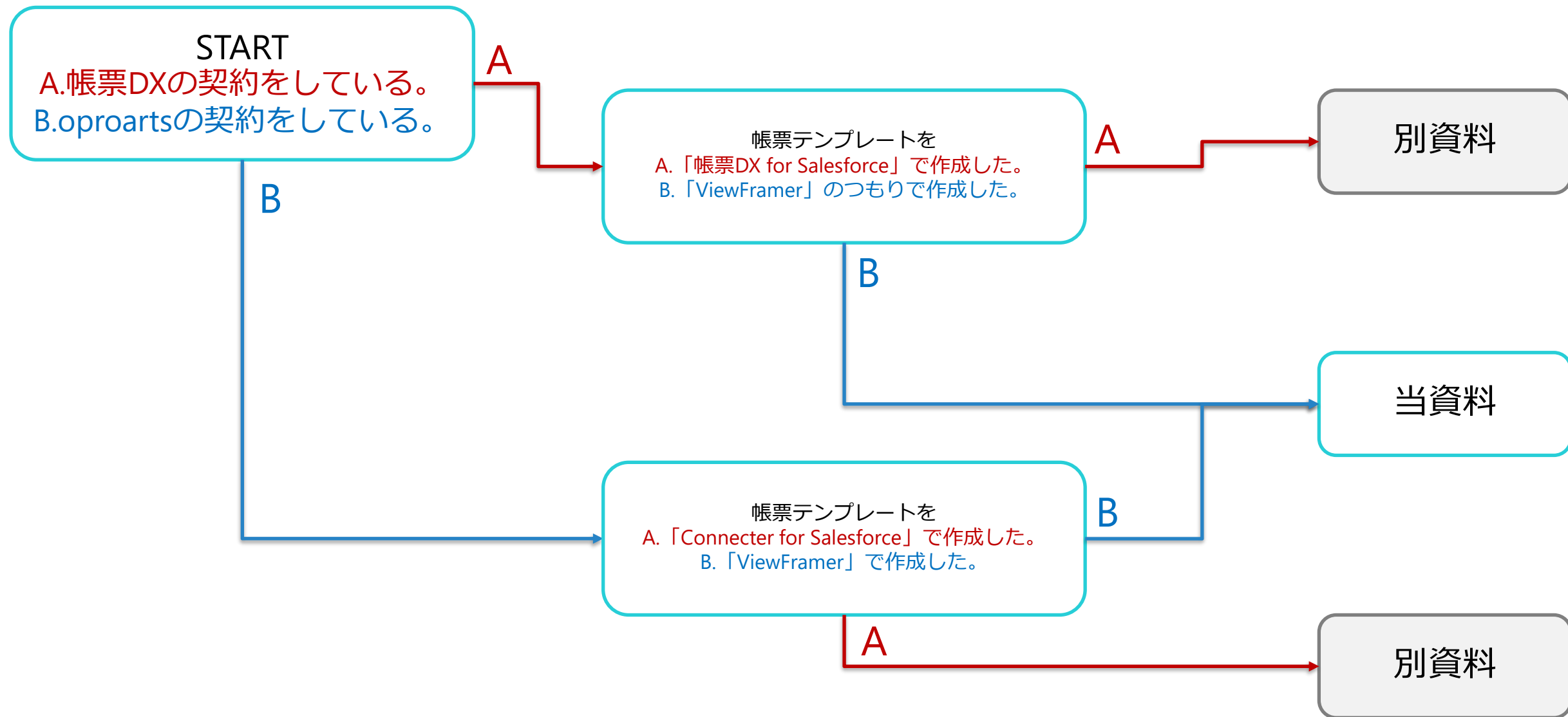
DX推進本部SE部



本資料について

- 同梱している以下の設定ファイルの変更部分を案内するガイドです。
 - ① D3Worker用「 Drive配送サンプル設定（ViewFramerテンプレート）.d3w 」
 - ② ViewFramer用「 drive_VFR_sample.mapping 」
- driveでのPDF配信を設定する内容です。
- 最低限の項目のみ解説しています。
- 必須項目は「*」で表現しています。

本資料について

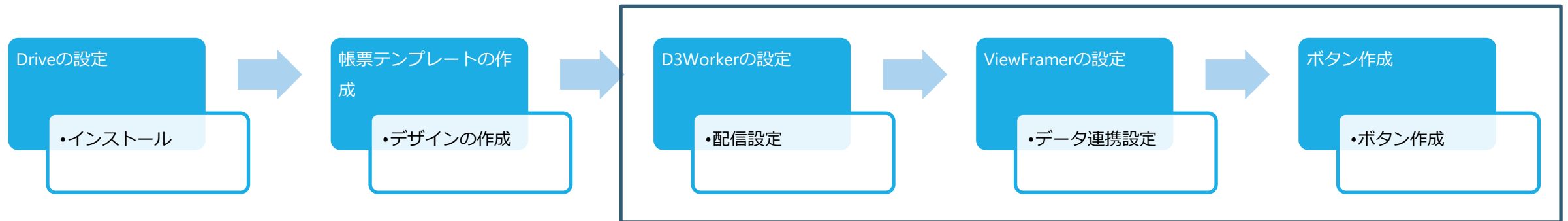


事前準備

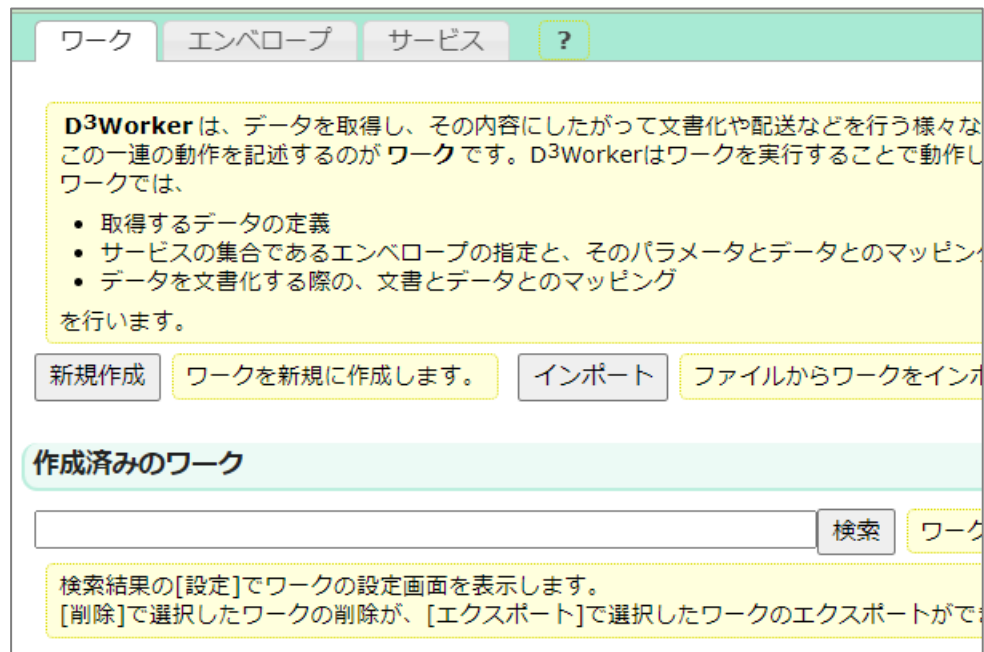
1. Salesforceにoproarts connectorがインストールされ、認証情報が登録されていること
 - セットアップガイドを一通り行ってください。
2. Fleekdrive（oproarts drive）がインストールされていること
 - 認証情報送付時のメール文面にセットアップガイドの案内がありますのでそちらを行ってください。
3. 帳票テンプレートが作成済みであること

全体設定の流れ

当資料の範囲



D3Workerにログインする



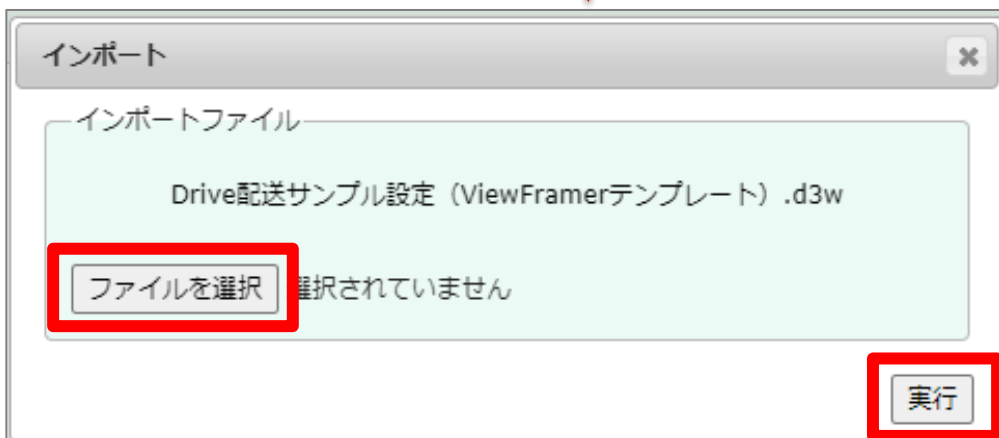
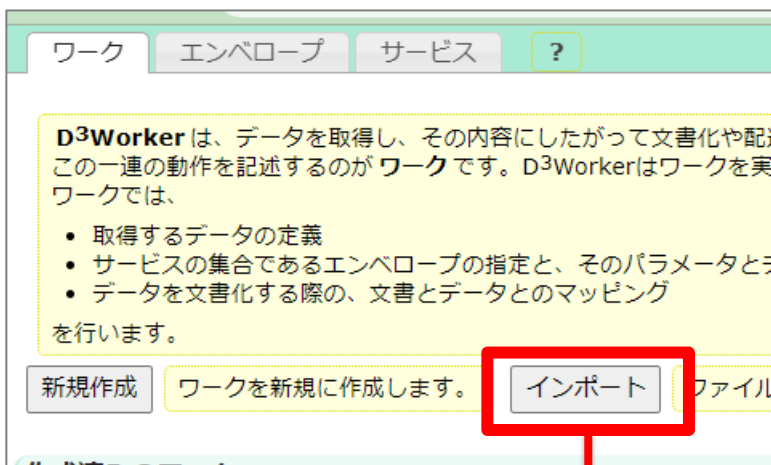
1. 弊社から認証情報が記載されたテキストファイルが送付されています。

1. 見つからない場合は、営業・SE・サポートのいずれかにご連絡ください。

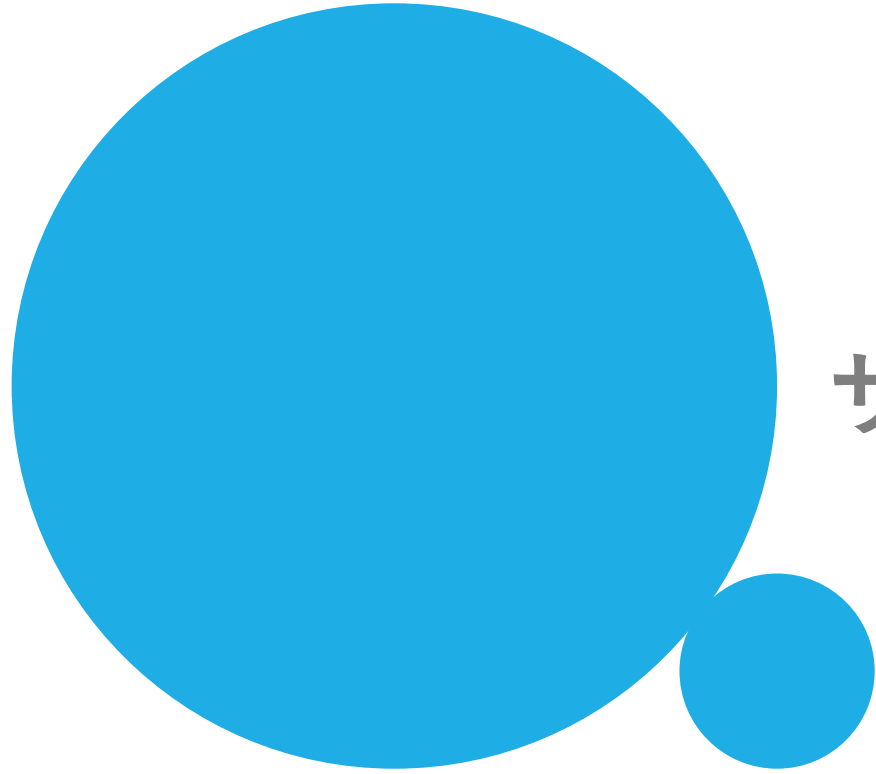
2. 「D3Worker.txt」内の「設定画面」URLをブラウザで開いてください。

1. UID、UPWも同テキスト内に記載されています。

Drive配送サンプル設定.d3wをインポートする



1. 「ワーク」タブの「インポート」ボタンをクリックします。
2. ファイル選択で、「Drive配送サンプル設定（ViewFramerテンプレート）.d3w」ファイルをアップロードし、実行をします。
3. 「検索」をクリックすると、インポートした設定が表示されます。



サービスの設定<Drive>

【サービス】 Drive配信（[帳票名]） Drive

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行され

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されて

名称	メモ
<input type="checkbox"/> Drive配信（[帳票名]） Drive	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「Drive配信（[帳票名]） Drive」をダブルクリックで開きます。

【サービス】Drive配信（[帳票名]） Drive

サービスの設定

名称

Drive配信（[帳票名]） Drive

メモ

配布用のひな型です。

OPROARTS Drive [配送]

OPROARTS Driveへ文書を登録します。

OPROARTS Driveへの接続情報

エンドポイントURL

https://app.fleekdrive.com/

通常は指定する必要はありません。

ユーザID

必須※DriveのユーザIDを指定※

セキュリティトークン ▼

必須※セキュリティトークンを指定※

☐ ユーザIDとセキュリティトークン/パスワードのエンベロープでの変更を許可する

接続の確認

1. 名称*

1. [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

2. メモ

1. 検索ワードになります。自由にご変更ください。

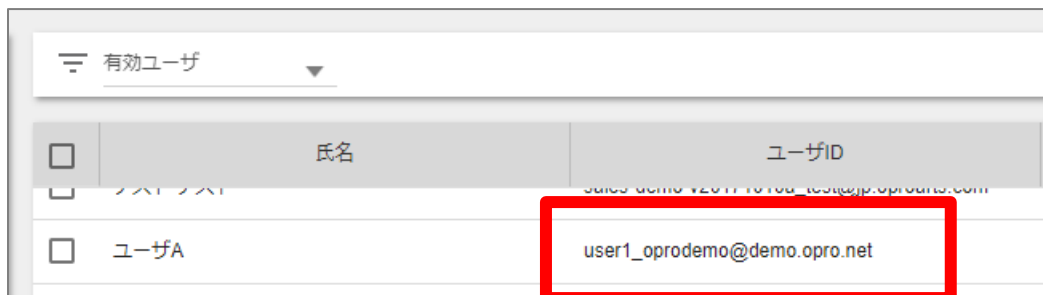
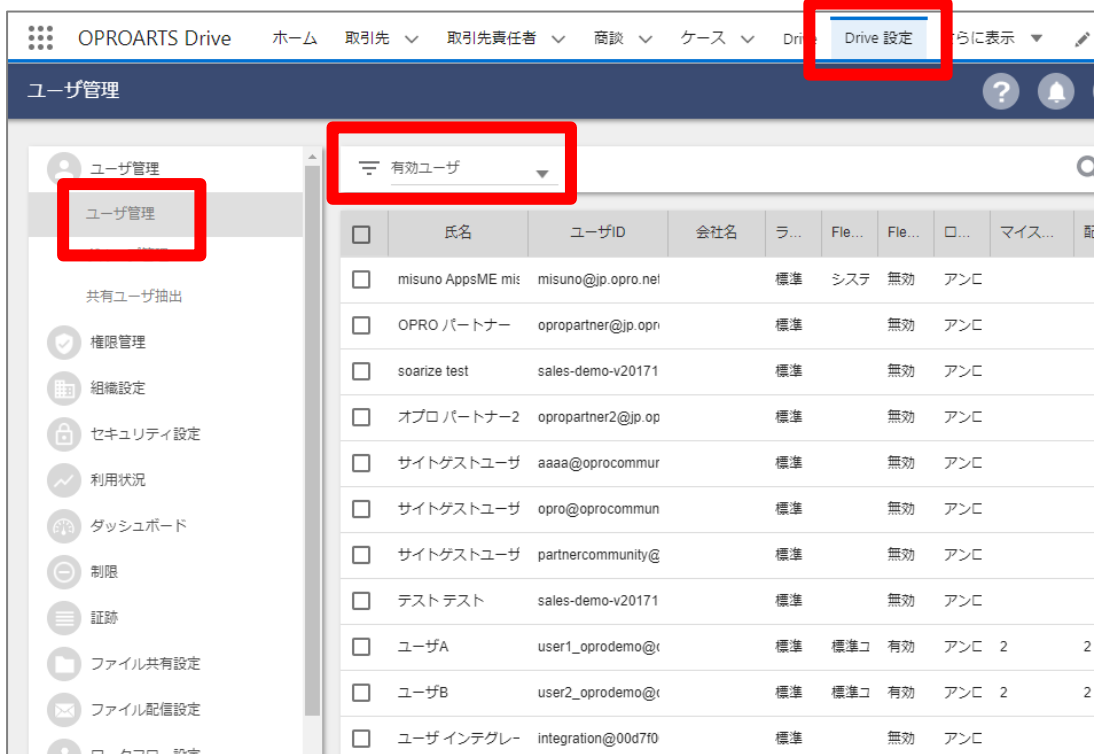
3. ユーザID*

1. DriveのユーザIDを登録します。このユーザで送信やストレージの更新を行いますので、システム管理者ユーザを推奨します。
2. 確認方法は次ページで紹介します。

4. セキュリティトークン*

1. ユーザごとを取得して設定します。詳しくは後述します。

【サービス】 Drive <ユーザIDの取得方法>



◆ ユーザIDの取得方法

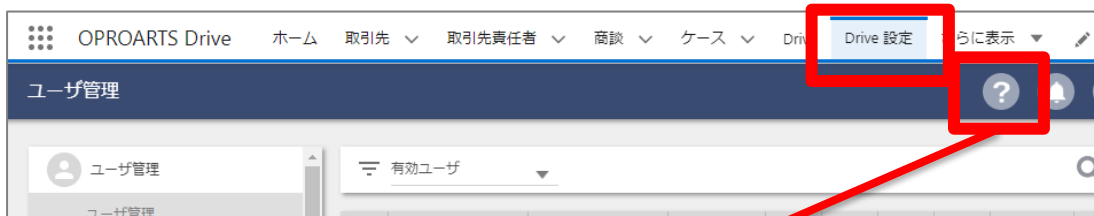
1. Salesforceの「Drive設定」タブを開く。

1. タブ名が「Fleekdrive設定」の場合もあります。

2. ユーザ管理>有効ユーザ>ユーザIDをコピーする。

1. このユーザで配信・更新等を行いますのでdriveのシステム管理者を推奨します。
2. ユーザIDがメールアドレスとして正しいかご確認ください。

【サービス】 Drive <セキュリティトークンの取得方法>



◆ セキュリティトークンの取得方法

1. 「Drive設定」の「?」をクリックします。
2. 「Fleekdriveサポート」のページに飛びます。
3. 「セキュリティトークンの取得」をクリックします。
 1. TOPページを画面スクロールするとあります。
 2. メールでセキュリティトークンが送られてきます。

【サービス】Drive配信（[帳票名]） Drive

OPROARTS Drive [配送]

保存先スペース

ルートスペース コラボスペース ▼

スペース

☐ スペースの作成を待機する

「/」区切りでスペースの階層を指定できます。存在しないスペースの作成を待機する場合は、D3Workerによるスペース

OPROARTS Drive [配送]

ファイルのカスタム項目

項目名	値	+	×
AccountName			×
Amount			×
Date			×
		+	×

ファイルの配信

☒ 配信する ☐ 配信しない

[通知メールの送信先]、[通知メールの件名]が指定された場合にのみ配信します。

通知メールの送信先

カンマ区切りで複数のメールアドレスを指定できます。

通知メールの件名

通知メールの本文

配信期間 登録後 日

ダウンロード回数 回まで

1. ルートスペース*

1. Drive保管先のフォルダを指定します。ルートスペースはトップフォルダです。顧客に提示する場合は、「コラボスペース」か「カンパニースペース」を選択してください。

2. ファイルのカスタム項目

1. Driveのカスタム項目にSalesforceのデータを格納できます。電子帳簿保存法の検索要件に対応する場合はこちらの設定を提案しています。
2. Driveの設定詳細は以下の記事をご覧ください。
3. [D3Workerのサービス設定（OPROARTS Drive \[配送\] - ワーク実行）](#)

3. ファイルの配信*

1. 「配信する」にすると、顧客にダウンロードURL入りのメールが送付されます。



サービスの設定<文書化>

【サービス】 Drive配信（[帳票名]） 文書化

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行され

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用され

名称	メモ
<input type="checkbox"/> Drive配信（[帳票名]） 文書化	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「Drive配信（[帳票名]） 文書化」をダブルクリックで開きます。

【サービス】 Drive配信（[帳票名]） 文書化

サービスの設定

名称

Drive配信（[帳票名]）文書化

メモ

配布用のひな型です。

OPROARTS

基本情報

URL

https://www.oproarts.com/Facade

接続のタイムアウト 30 秒、読み込みのタイムアウト 300 秒

リクエスト内容

UID

必須※「ドキュメント出力用」

UPW

必須※「ドキュメント出力用」

ファイル形式

PDF

接続の確認

1. 名称*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

サービスの設定

名称	Drive配信（[帳票名]）文書化
メモ	配布用のひな型です。

OPROARTS

基本情報

URL	https://www.oproarts.com/Facade
接続のタイムアウト 30 秒、読み込みのタイムアウト 300 秒	

リクエスト内容

UID	必須※「ドキュメント出力用」
UPW	必須※「ドキュメント出力用」
ファイル形式	PDF ▼

接続の確認

oproartsご利用の場合

1. 基本情報欄

- 変更なし

2. リクエスト内容欄*

- UIDとUPWはドキュメント出力用（LA）を登録してください。

3. 接続の確認

- 接続できることをご確認ください。

サービスの設定

名称 Drive配信（[帳票名]） 文書化

メモ 配布用のひな型です。

OPROARTS

基本情報

URL <https://xa-service.oproarts.com/compatible/Facade>

リクエスト内容

UID 必須※「ドキュメント出力用」

UPW 必須※「ドキュメント出力用」

ファイル形式 PDF

接続の確認

URLを変える

帳票DXご利用の場合

1. 基本情報 URL

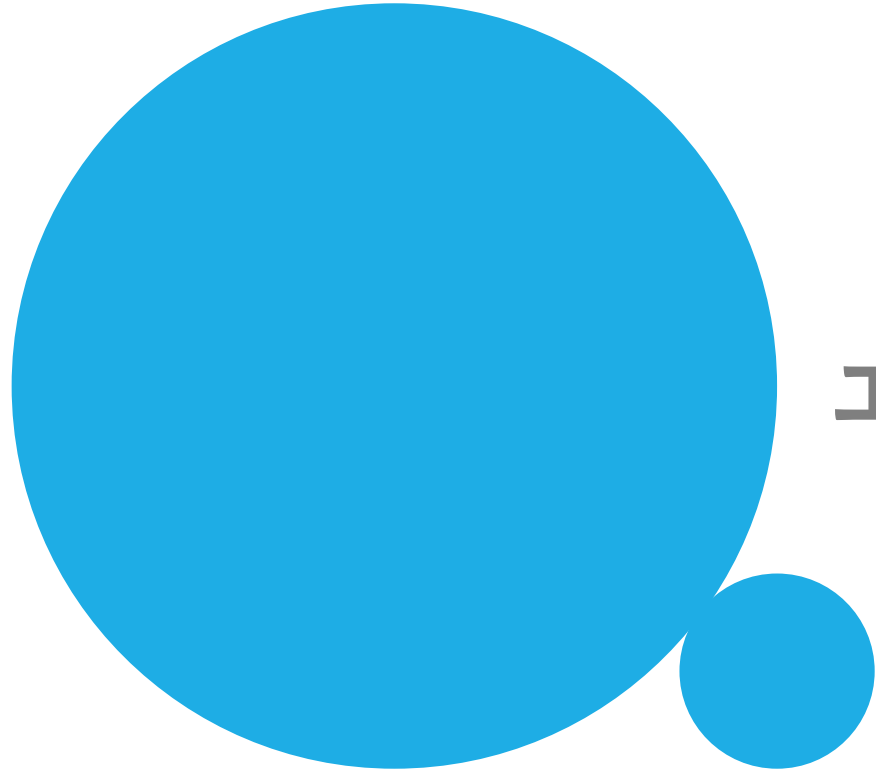
- 以下をコピー＆ペーストしてください。
- <https://xa-service.oproarts.com/compatible/Facade>

2. リクエスト内容欄*

- D3Workerログイン時と同じUIDとUPWを登録してください。

3. 接続の確認

- 接続できることをご確認ください。



エンベロープの設定

【エンベロープ】 Drive配信（[帳票名]）

ワーク エンベロープ サービス ?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理の単
ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、
これによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったことが

新規作成 エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

検索 エン

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエンベ

名称	メモ
<input type="checkbox"/> Drive配信（[帳票名]）	配布用のひな型です。

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「Drive配信（[帳票名]）」をダブルクリックで開きます。

【エンベロープ】 「基本」 タブ

基本 属性 文書化サービス 保管サービス 配送サービス

ワークで正在使用されているエンベロープです。変更する際はご注意ください。

名称 Drive配信（[帳票名]）

メモ 配布用のひな型です。

件名 Drive配信（[帳票名]） 編集

「基本」 タブ

- 名称*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

- メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

- 件名

- ログに出てくる情報です。ワーク名を入れておくことをお勧めします。

【エンベロープ】 「文書化サービス」 タブ

「文書化サービス」 タブ

- ファイル形式：PDF
 - 今回はPDF前提のためPDFを選択します。
- それ以外の項目は変更不要です。

The screenshot shows the 'Documentation Service' (文書化サービス) tab selected. A warning message at the top states: '現在利用しているエンベロープです。変更する際はご注意ください。' (This is the envelope currently being used. Please be careful when making changes). The left sidebar shows a list of services, including 'D3Worker', 'ing Cloud連携', 'sDM/新規開', 'Cloud連', 'e)', '作検証_SFDC', and '作検証_SFDC'. The main area is titled '選択済みの文書化サービス' (Selected Documentation Service) and shows 'Drive配信 ([帳票名]) OPROARTS'. Under '基本情報' (Basic Information), the 'URL' field is set to 'サービスの設定を用いる' (Use service settings) with an '編集' (Edit) button. Under 'リクエスト内容' (Request Content), the 'UID' and 'UPW' fields are also set to 'サービスの設定を用いる' with '編集' buttons. The 'ファイル形式' (File Format) dropdown is highlighted with a red box and set to 'PDF'.

【エンベロープ】 「配送サービス」 タブ

ファイルの配信

☒ 配信する ☐ 配信しない ☐ サービスの設定を用いる

[通知メールの送信先]、[通知メールの件名]が指定された場合にのみ配信します。

通知メールの送信先	{送信先}
通知メールの件名	{取引先}様 請求書の送付
通知メールの本文	{取引先} {取引先責任者}様
配信期間	登録後 <input type="text"/> サービスの設定を用いる <input type="button" value="編集"/> 日
ダウンロード回数	<input type="text"/> サービスの設定を用いる <input type="button" value="編集"/> 回まで
パスワード	<input type="text"/> サービスの設定を用いる <input type="button" value="編集"/>

{○○} (パラメータ)
Salesforceのデータを差し込む箱

- {○○}について ※重要

- Salesforceの項目を差し込むタグです。
D3Workerでは「パラメータ」と表現しています。すでに設定されているパラメータは必須項目なので削除しないでください。
- エンベロープでは、Salesforceから差し込む項目の位置を指定しています。
 - ※「サービス」ではパラメータを使用できません。

- 「サービスの設定を用いる」と記載されている項目

- 適宜、要件に応じて変更してください。

【エンベロープ】 「配送サービス」 タブ

保存先スペース

スペース	コラボスペース/ ※任意のフォルダ階層を指定※ スペースの作成を待機しない	編集
------	--	----

「/」区切りでスペースの階層を指定できます。存在しないスペースは作成されます。
[スペースの作成を待機する]場合は、D3Workerによるスペースの作成は行われず、外部によるスペースの

ファイルのカスタム項目

項目名	値	
AccountName	{取引先}	編集
Amount	{金額}	編集
Date	{TODAY}	編集

● 保存先スペース*

- Driveに格納するフォルダを指定します。
- フォルダはパラメータで指定することができ、連携時に存在しないフォルダは自動生成します。フォルダ階層は「/」で表現します。
- 例：請求書/{取引先名}/{TODAY}

● ファイルのカスタム項目

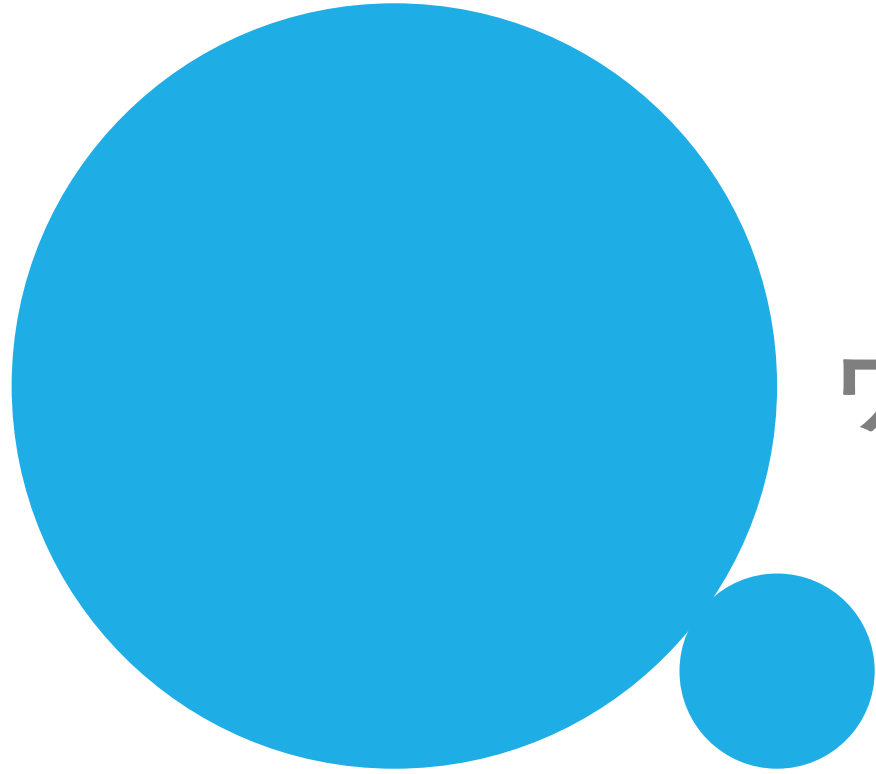
- 電子帳簿保存法対応をしない場合はこちらは削除しても問題ありません。

【エンベロープ】 「配送サービス」 タブ

「配送サービス」 タブ

- 送信先*
 - 変更不要
- 通知メールの件名、本文
 - ご自由に変更ください。

ファイルの配信	
<input checked="" type="radio"/> 配信する <input type="radio"/> 配信しない <input type="radio"/> サービスの設定を用いる	
[通知メールの送信先]、[通知メールの件名]が指定された場合にのみ配信します。	
通知メールの送信先	<input type="text" value="{送信先}"/> <input type="button" value="編集"/> カンマ区切りで複数のメールアドレスを指定できます。
通知メールの件名	<input type="text" value="{取引先}様 請求書の送付"/> <input type="button" value="編集"/>
通知メールの本文	<input type="text" value="{取引先}"/> {取引先責任者}様 <input type="button" value="編集"/>
配信期間	登録後 <input type="text" value="サービスの設定を用いる"/> <input type="button" value="編集"/> 日
ダウンロード回数	<input type="text" value="サービスの設定を用いる"/> <input type="button" value="編集"/> 回まで
パスワード	<input type="text" value="サービスの設定を用いる"/> <input type="button" value="編集"/>



ワークの設定

【ワーク】 Drive配信（[帳票名]）

ワーク エンベロープ サービス ?

D³Workerは、データを取得し、その内容にしたがって文書化や配送などを行う様々なサービスの一連の動作を記述するのがワークです。D³Workerはワークを実行することで動作します。ワークでは、

- 取得するデータの定義
- サービスの集合であるエンベロープの指定と、そのパラメータとデータとのマッピング
- データを文書化する際の、文書とデータとのマッピング

を行います。

新規作成 ワークを新規に作成します。 インポート ファイルからワークをインポート

作成済みのワーク

検索 ワークの名

検索結果の[設定]でワークの設定画面を表示します。
[削除]で選択したワークの削除が、[エクスポート]で選択したワークのエクスポートができます。

名称	メモ
<input checked="" type="checkbox"/> Drive配信（[帳票名]）	配布用のひな型です。

1. 「ワーク」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたワークが表示されます。
2. 「Drive配信（[帳票名]）」をダブルクリックで開きます。

【ワーク】 「基本」 タブ

基本	データソース	エンベロープ	文書とデータのマッピング
名称	<input type="text" value="Drive配信（[帳票名]）"/>		
メモ	<div>配布用のひな型です。</div>		
件名	<input type="text" value="Drive配信（[帳票名]）"/>		<input type="button" value="編集"/>

- 名称*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

- メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

- 件名

- ログに出てくる情報です。ワーク名を入れておくことをお勧めします。

【ワーク】 「データソース」 タブ

基本		データソース	エンベロープ	文書とデータのマッピング
CSVの形式				
文字コード	シフトJIS ▼			
先頭行	<input type="checkbox"/> データとして使用しない			
フィールド				
	フィールド名	+	×	
1	TODAY	▼	×	
2	組織ID	▲▼	×	
3	artner API URL	▲▼	×	
4	recordId	▲▼	×	
5	session_Id	▲▼	×	
6	user_Id	▲▼	×	
7	ファイル名	▲▼	×	
8	取引先	▲▼	×	
9	取引先責任者	▲▼	×	
10	送信先	▲▼	×	
11	金額	▲▼	×	
12	※※帳票に必要な※※	▲▼	×	
13	※※項目を※※	▲▼	×	
14	※※ここに※※	▲▼	×	
15	※※追加してください※※	▲	×	
CSVを取得		+	×	

● フィールド名* ※重要

- Salesforceから受け取る項目を指定しています。ここに指定されているデータを、後続のエンベロープや帳票に割り当てます。
- 実際のデータの指定（オブジェクト名・項目名等）は、ViewFramerで行います。ここでは項目名のみの定義となります。
- エンベロープでパラメータを追加した場合は、紐づける項目名をここに追加します。

【ワーク】「データソース」タブ

12	※※帳票に必要な※※	▲▼×
13	※※項目を※※	▲▼×
14	※※ここに※※	▲▼×
15	※※追加してください※※	▲▼×
CSVを取得		+×

新規追加

● 帳票に必要なフィールドを追加する

- 12以降は適宜帳票テンプレートのフィールドに使用しているフィールド名を追加してください。

oproarts

CSV 定義

☒ 区切り記号付き
フィールド区切り記号
文字列の引用符
☐ 先頭行を無視する
☐ データ出力条件

このフィールド名をデータソースに追加する

フィールド名	データタイプ	形式
会社名_請求先	ext	
見積番号	ext	
注文番号	ext	
請求番号	ext	
郵便番号_請求先	ext	
住所 都道府県 請求先	ext	

追加 削除 上へ 下へ 形式の読み込み... サンプルCSV

帳票DX

要素 レイヤー データセット

データセット +

- Dataset1
 - 見積番号
 - 取引先名
 - 取引先住所
 - 郵便番号
 - 合計金額
 - 税額
 - 小計
 - 備考
- Dataset2
 - 製品コード
 - 明細

【ワーク】 「エンベロープ」 タブ

- このワークで使用するエンベロープを紐づけています。サンプルではエンベロープを指定済みです。
- エンベロープで指定したパラメータにどのデータを引き渡すのか紐づけをしています。データソースで追加したフィールドを紐づける必要があります。
 - エンベロープで新しくパラメータを作成した場合は、データソースにフィールドを追加の上紐づけを行ってください。
(次ページ説明)

ワーク [Drive配信 ([帳票名])] の編集 OPRO D3Worker

recordId
☐ ソートする

エンベロープパラメータからデータソースを構築

選択済みのエンベロープ

Drive配信 ([帳票名])

アクティブ化するフィールド
エンベロープフィールド

アクティブ化するフィールド値

☒ ELSEとして使用する

エンベロープパラメータの値		
{TODAY}	[TODAY]	編集
{org_Id}	[org_Id]	編集
{partner_api_url}	[partner_api_url]	編集
{recordId}	[recordId]	編集
{session_Id}	[session_Id]	編集
{user_Id}	[user_Id]	編集
{ファイル名}	[ファイル名]	編集
{取引先}	[取引先]	編集
{取引先責任者}	[取引先責任者]	編集
{送信先}	[送信先]	編集
{金額}	[金額]	編集

【ワーク】 「エンベロープ」 タブ <パラメータの紐づけ方>

エンベロープ> 設定

通知メールの本文

{取引先}
{取引先責任者}様

いつもお世話になっております
オプロの{担当者}です。

請求書を送付いたしますのでご査収ください。
メール下部のURLリンクよりダウンロードいただけます。

よろしくお願いいたします。

パラメータを新規
追加

ワーク> エンベロープ

Drive配信 ([帳票名])

アクティブ化するフィールド
エンベロープフィールド

アクティブ化するフィールド値

☒ ELSEとして使用する

エンベロープパラメータの値		
{TODAY}	[TODAY]	編集
{org_Id}	[org_Id]	編集
{partner_api_url}	[partner_api_url]	編集
{recordId}	[recordId]	編集
{session_Id}	[session_Id]	編集
{user_Id}		編集
{ファイル名}		編集
{取引先}		編集
{取引先責任者}	[取引先責任者]	編集
{担当者}		編集
{送信先}	[送信先]	編集

追加されている

パラメータの紐づけ方

1. 「エンベロープ」の設定で{〇〇}（パラメータ）を作成すると、ワークのエンベロープにも追加されます。

【ワーク】 「エンベロープ」 タブ <パラメータの紐づけ方>

ワーク>エンベロープ

パラメータの紐づけ方

1. パラメータの「編集」をクリックします。
2. 「データソース」欄にあるフィールド名から紐づけたいフィールドをダブルクリックします。

1. ダブルクリックすると、下枠の「エンベロープパラメータ」に[〇〇]と入力されます。

3. OKをクリックします。

【ワーク】 「文書とデータのマッピング」 タブ

● 文書名

- 帳票のファイル名の命名規則です。
- 編集ボタンから、データソースと固定文言を組み合わせて指定することができます。サンプルではViewFramerで指定したファイル名を使う設定です。
- 例：[取引先名]様向け請求書_[TODAY]

The screenshot shows a software interface with four tabs: '基本' (Basic), 'データソース' (Data Source), 'エンベロープ' (Envelope), and '文書とデータのマッピング' (Document and Data Mapping). The '文書とデータのマッピング' tab is active. It contains three main sections: '文書名' (Document Name), 'テンプレート' (Template), and '切り替えフィールド' (Switch Field). The '文書名' section has a text input field containing '[ファイル名]' and a '編集' (Edit) button. The 'テンプレート' section has a 'テンプレート名' (Template Name) field containing 'live_※ここにテンプレート名を入力※' and a '編集' (Edit) button, along with a checkbox labeled 'フォントの埋め込みを指示する' (Indicate font embedding). The '切り替えフィールド' (Switch Field) section has a dropdown menu.

- テンプレート名*

- 使用するテンプレート名を入力してください。
- 先頭に「live_」をつけますので削除しないでください。

基本 データソース エンベロープ 文書とデータのマッピング

文書名 [ファイル名] 編集

テンプレート

テンプレート名 live_※ここにテンプレート名を入力※ 編集

☐ フォントの埋め込みを指示する

切り替えフィールド ▼

【ワーク】「文書とデータのマッピング」タブ

● テンプレート名*

- 使用するテンプレート名を入力してください。
- 「バケット名」 / 「フォルダ名」 / 「テンプレート名」となるように、フォルダ階層から指名してください。

基本 データソース エンベロープ 文書とデータのマッピング

文書名 [ファイル名] 編集

テンプレート

テンプレート名 本番/営業部/ライセンス見積書 編集

☐ フォントの埋め込みを指示する

切り替えフィールド

マッピング

データセットの追加

バケット名/フォルダ名/
テンプレート名

【ワーク】「文書とデータのマッピング」タブ

データセット

- 帳票テンプレートのマッピング定義と対応させます。
 - データセットの数はテンプレートに合わせて追加・削除してください。
- 「編集」ボタンからデータソースのフィールドを追加してください。
 - []で括られていればOK
 - 一括設定から一括で入れて不要なフィールドを削除していくのが効率的です。
 - 順番もテンプレートと同じにしてください。

【ワーク】 「文書とデータのマッピング」 タブ

マッピング

データセットの追加

データセット1

	データセットのフィールド値		+	×
1	[請求日]	編集	▼	×
2	[請求書番号]	編集	▲▼	×
3	[請求先名]	編集	▲▼	×
4	[注文番号]	編集	▲▼	×
5	[請求締め日]	編集	▲▼	×
6	[請求担当者名]	編集	▲▼	×
7	[請求備考]	編集	▲▼	×
8	[消費税額（外税）]	編集	▲▼	×
9	[税込価格]	編集	▲	×
			+	×

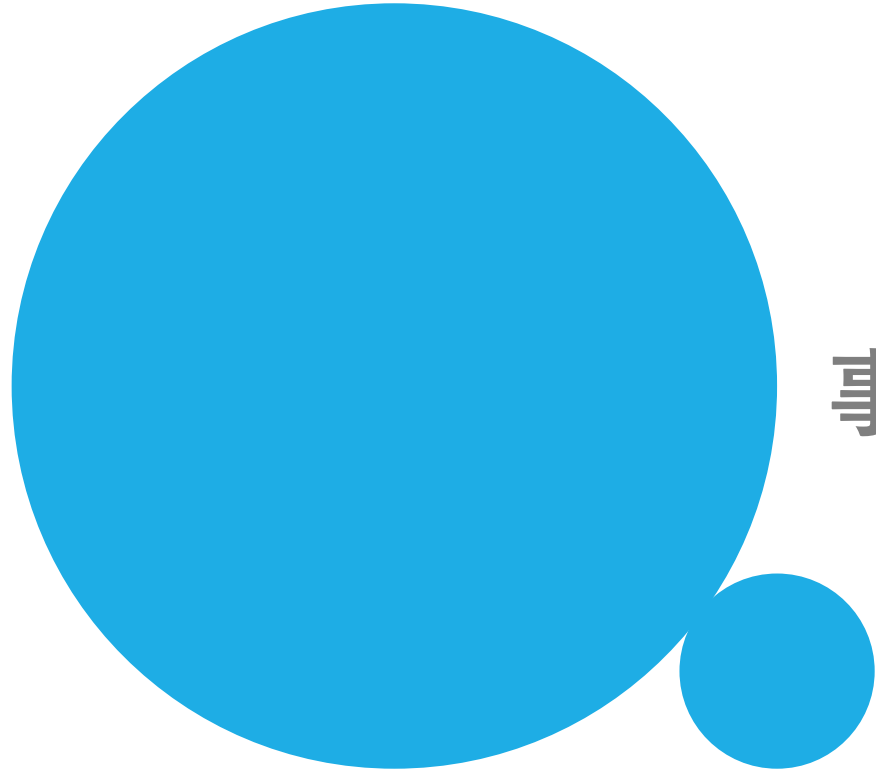
データセット2

	データセットのフィールド値		+	×
1	[商品名]	編集	▼	×
2	[単価]	編集	▲▼	×
3	[数量]	編集	▲▼	×
4	[金額]	編集	▲	×
			+	×

完成例

データセット

- 完成例は左のようになります。

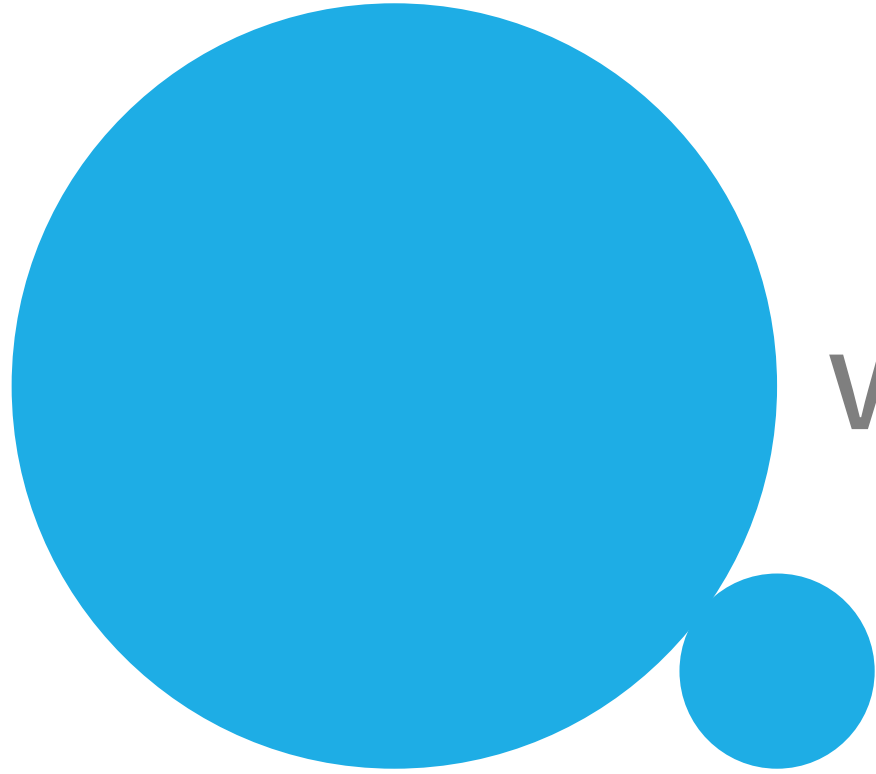


事前準備（ViewFramerの前）

D3Workerの検証

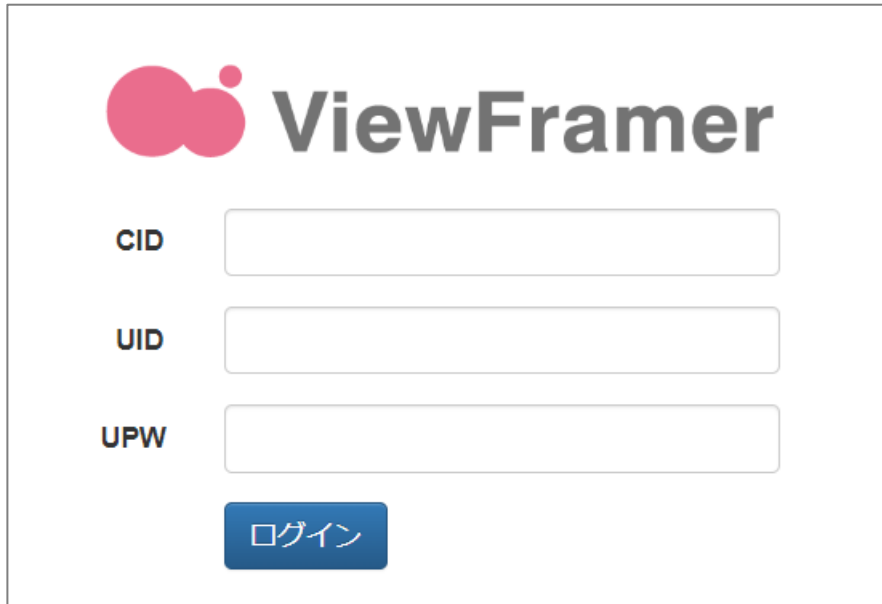
[削除]で選択したワークの削除が、[エクスポート]で選択したワークのエク		
名称	メモ	
<input type="checkbox"/> Drive配信（[帳票名]）	配布用のひな型です。	検査 設定 コピー

- 最後にワークの検証を行い、設定漏れがないかを確認します。
- 「ワーク」タブで、検査を行うワークの右にある「検査」をクリックします。
- OK：「実行可能な状況です」と表示されます。
- NG：どこの設定が不足しているか表示されます。
 - 「サービス」の「Drive」の認証ができていない可能性があります。ユーザIDとセキュリティトークンをご確認ください。



ViewFramerの設定

ViewFramerのログイン

The image shows a login form for ViewFramer. At the top left is the ViewFramer logo, which consists of two overlapping pink circles followed by the text "ViewFramer" in a bold, dark grey sans-serif font. Below the logo are three input fields, each with a label to its left: "CID", "UID", and "UPW". Each label is in a bold, dark grey sans-serif font. The input fields are white with a thin grey border. Below the input fields is a blue rectangular button with the white text "ログイン" (Login) in a sans-serif font.

ViewFramer

CID

UID

UPW

ログイン

- ブラウザでViewFramerにログインします。
- ViewFramerのログインには認証情報の「LAD（デザイナー用）」用UID・UPWを使用します。
 - D3WorkerのUID・UPWとは別なのでご注意ください。

設定ファイルをインポートする



1. 「マッピング」タブの「インポート」ボタンをクリックします。
2. ファイル選択で「drive_oproarts_sample.mapping」をアップロードします。
 1. マッピング名は英数字アンダーバーで指定可能です。
3. 設定ファイルがインポートできました。

ビューの編集を許可する

drive_sample_Import202308090934	未配備	Salesforce				
---------------------------------	-----	------------	---	---	--	---



マッピング : 定義 (編集)

マッピング名

タグ (Enterキーで確定)

タイプ 単票型


ビューの編集を許可する ☒

主データ

ビュー drive_sample_Import202308090935 取得

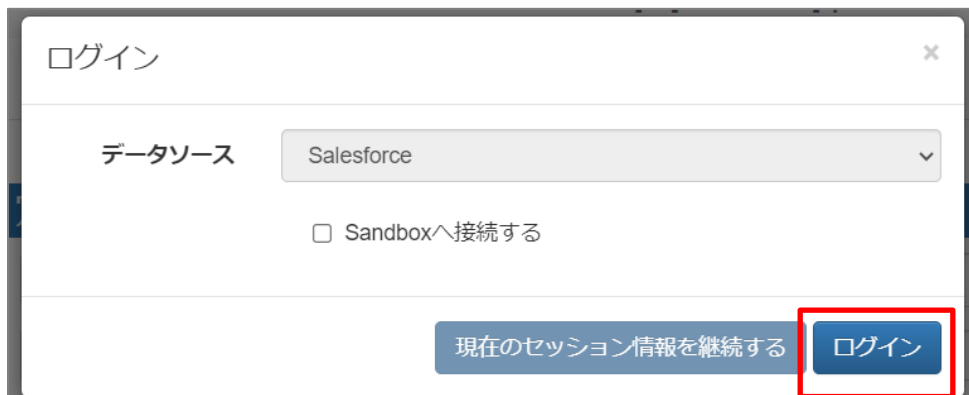
No	項目	検索結果	
1	<input type="text" value="recordId"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	+ -
2	<input type="text" value="user_id"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	+ -

戻る 元に戻す 次へ

- インポートした設定はビュー設定の編集が許可されていないため、許可の設定を行います。
- インポートしたマッピングの編集アイコンをクリックします。 
- 「ビューの編集を許可する」チェックをつけます。
- 「次へ」をクリックします。

D3Workerとの紐づけ

- Salesforceにログインをします。
- 「D3Worker」タブを開きます。



ログイン

データソース: Salesforce

☐ Sandboxへ接続する

現在のセッション情報を継続する ログイン



マッピング ビュー CSVオブジェクト 表示設定 認証設定

接続情報を確認してください。

マッピング : 定義 (drive_sample_Import202308090934)

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

D3Worker

URL: https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/ 接続

D3Workerとの紐づけ

マッピング：定義 (drive_sample_Import2023080909)

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

D3Worker

URL 接続

ワーク

送信フィー

No Workフィー データ

Adobe Sign連携_営業用デモ

Drive配信 ([帳票名])

選択肢が見つかりません。

- URLにD3Workerの接続URLを入力し「接続」をクリックします。
 - <https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/{お客様のテナント名}/>
- ワークのプルダウンから、前章のワーク名を指定してください。
 - ここに出てこない場合はD3Workerの設定が不十分です。検証を行ってください。

D3Workerとの紐づけ

ワーク Drive配信 ([帳票名])

送信フィールド

No	Workフィールド	データ	データフィールド	画像
1	TODAY	main	TODAY	<input type="checkbox"/>
2	組織ID	main	組織ID	<input type="checkbox"/>
3	artner API URL	main	artner API URL	<input type="checkbox"/>
4	recordId	main	recordId	<input type="checkbox"/>
5	session_Id	main	session_Id	<input type="checkbox"/>
6	user_Id	main	user_Id	<input type="checkbox"/>
7	ファイル名	main	ファイル名	<input type="checkbox"/>
8	取引先	main	取引先	<input type="checkbox"/>
9	取引先責任者	main	取引先責任者	<input type="checkbox"/>
10	送信先	main	送信先	<input type="checkbox"/>
11	金額	main	金額	<input type="checkbox"/>

一覧に戻る

自動マッピング

保存 配備

自動マッピングをクリックすると、Workフィールドとデータフィールド名を一致させます。

- 「自動マッピング」をクリックしてください。
 - 「Workフィールド」がD3Workerのデータソース、「データフィールド」がViewFramerビュー定義の項目名です。これを対応させることで、ViewFramerからD3WorkerへSalesforceデータの受け渡しができます。
- 「配備」ボタンをクリックします。

ビュー設定<項目定義>



- 「ビュー」タブを開きます。
- インポートしたビュー定義を編集します。
編集アイコンをクリックします。



ビュー設定<リレーション設定>

マッピング ビュー CSVオブジェクト 表示設定 認証設定

ビュー：定義 (drive_sample_Import202308090935)

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

リレーション設定

主オブジェクト 商談 [Opportunity] main_object

サンプルで商談を設定しています。
適切なオブジェクト（ボタンを置く
オブジェクト）に変更してください。

No 関連オブジェクト

1 取引先 [Account] account + -

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	取引先名	等しい(=)	0-商談 [Opportunity]	取引先 ID

* 関連オブジェクト
サンプルで取引先を紐づけています。
適宜変更してください。

1. 「リレーション設定」タブを開きます。
 - ここでは配信に必要なオブジェクトを指定します。
2. サンプルとして商談オブジェクトを起点にした設定がされています。「主オブジェクト」を実際に使用するメインオブジェクトに変更してください。
 - 主オブジェクトとは、配信ボタンを置くオブジェクトです。
 - ショートネーム（右側の{main_object}は変更しないでください）
3. 主オブジェクトの変更に伴い、関連オブジェクトの取引先のリレーションを変更してください。
 - 使用しない場合は、「-」ボタンで削除してください。
4. 適宜、必要な関連オブジェクトを追加してください。

ビュー設定<リレーション設定>

関連オブジェクトについて

- 主オブジェクトに指定したオブジェクトに紐づく参照項目先のデータを使用したい場合に設定します。
- 左の例の場合、商談Objの取引先IDで取引先Objを検索し同じ「取引先ID」のレコードを取得する、という設定です。標準Objの項目のためわかりにくいですが、参照項目の場合は「主.参照項目名」＝「関連.ID」で紐づけられます。

リレーション設定

主オブジェクト
商談 [Opportunity]
main_object

No 関連オブジェクト

1	取引先 [Account]	account	+	-
---	---------------	---------	---	---

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名	
1	取引先 ID	等しい(=)	0-商談 [Opportu]	取引先 ID	AN + -

ビュー設定＜項目設定＞

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力項目設定

対象取得元
main_object ▼
全項目を追加

No	項目	ビルダー	ソート	グループ	出力項目名		
1	"main_object.商談 II"	項目ビルダー	順	昇 ▼ 順	recordId	+	-
2	"	項目ビルダー	順	昇 ▼ 順	user_Id	+	-
3	"	項目ビルダー	順	昇 ▼ 順	session_Id	+	-
4	"	項目ビルダー	順	昇 ▼ 順	artner API URL	+	-
5	"	項目ビルダー	順	昇 ▼ 順	組織ID	+	-
6	FORMAT_DATE(TC	項目ビルダー	順	昇 ▼ 順	TODAY	+	-
7	account.取引先名	項目ビルダー	順	昇 ▼ 順	取引先	+	-
8	"	項目ビルダー	順	昇 ▼ 順	取引先責任者	+	-
9	"	項目ビルダー	順	昇 ▼ 順	送信先	+	-

出力項目設定について

- D3Workerに渡すSalesforceのデータを定義します。
- 「出力項目名」はD3Workerのデータソースと紐づけますので、同名にします。サンプルではすでに定義されていますが、Salesforce項目は空ですので次ページの手順で各項目名に項目を指定してください。
- D3Workerのデータソースに追加したフィールドを追加してください。

ビュー設定<項目設定>

1	"main_object.商談 II	項目ビルダー	順
2	"	項目ビルダー	順

項目ビルダー

列追加

削除する

構文チェック

列追加

オブジェクト

main_object

列

"Current Generator(s)"

項目名

OK キャンセル

各出力項目名に紐づけるSalesforceの項目を設定します。

1. 「項目ビルダー」をクリックします。
2. 入力されているものは削除します。
3. 「列追加」をクリックします。
4. 使用するオブジェクトと列（項目）を指定してOKをクリックします。

1. 「オブジェクト」はリレーション設定で指定したオブジェクトです。「列」は項目名です。

ビュー設定<項目設定>

項目ビルダー

列追加

main_object.Amount

追加された

構文チェック

関数

選択された関数を挿入

すべての関数

演算子

AND
OR
NOT
=

OK

キャンセル

main_object.金額

Salesforce項目が追加された

- 項目（API参照名）が追加されましたので、OKをクリックします。
- すべての項目を同じように項目指定をしていきます。
- D3Workerのデータソースにフィールドを新規追加した場合は、「+」ボタンで項目を追加してください。

項目ビルダー

新規追加

+

ビュー設定＜出力条件設定＞

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力条件設定

☒ Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No	取得元	Limit
1	main_object	未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
----	-----	-----	-----

+



基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力条件設定

☒ Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No	取得元	Limit
1	main_object	未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
1	カスタムオブジェクト ID	いずれかと等しい(IN)	パラメータ recordId

出力条件設定について

- Salesforceからデータを取得する際の最低限の条件設定です。次のように設定をしてください。

1. main_objectの「+」を押す。
2. 項目名をオブジェクトIDにする。
 1. カスタムオブジェクトの場合は「カスタムオブジェクトID」です。
 2. 標準オブジェクトの場合は「○○ ID」となっていると思われます。API参照名が「Id」となっている項目を指定してください。
3. 演算子は「いずれかと等しい(IN)」
4. 条件値は「パラメータ名」「recordId」

ビュー設定＜出力条件設定＞

- 「保存」 ボタンをクリックしてください。

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力条件設定

☒ Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No 取得元

1 main_object Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。


No	項目名	演算子	条件値
1	カスタムオブジェクト ID	いずれかと等しい(IN)	パラメータ recordId

2 account Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
----	-----	-----	-----

一覧に戻る 戻る 元に戻す 保存

マッピングを更新する

1. 「マッピング」タブを開き、編集  します。
2. ビューの「取得」ボタンをクリックします。
 1. ビューの項目を追加/削除している場合はここで内容が更新されます。
3. 「次へ」ですすみます。

マッピング ビュー CSVオブジェクト 表示設定 認証設定

マッピング：一覧

新規 インポート


作成者

oproarts連携用


マッピング名	タグ	配備状況	データソース	アクション
(フィルター)		(フィルター)	(フィ) ↓	
drive_sample_Import202308090934		配備済み 2023/08/09 10:54	Salesforce	 



主データ main

ビュー drive_sample_Import202308090935 

No	項目	検索結果
1	recordId	<input checked="" type="checkbox"/>
2	user_id	<input checked="" type="checkbox"/>

戻る 元に戻す 

マッピングを更新する



ログイン

データソース

Salesforce

☐ Sandboxへ接続する

現在のセッション情報を継続する ログイン

- Salesforceにログインをします。
 - 2回目以降は「現在のセッション情報を継続する」でログインをスキップできます。
- 「D3Worker」タブを開きます。



マッピング：定義 (drive_sample_Import202308090934)

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

D3Worker

URL

https://d3w.apoproarts.com/d3w/api/

接続

ワーク Drive配信 ([帳票名])

送信フィールド

No	Workフィールド	データ	データ
1	TODAY	main	recd
2	組織ID	main	recd
3	artner API URL	main	recd
4	recordId	main	recd

D3Workerとの紐づけ

ワーク Drive配信 ([帳票名])

送信フィールド

No	Workフィールド	データ	データフィールド	画像
1	TODAY	main	TODAY	<input type="checkbox"/>
2	組織ID	main	組織ID	<input type="checkbox"/>
3	artner API URL	main	artner API URL	<input type="checkbox"/>
4	recordId	main	recordId	<input type="checkbox"/>
5	session_Id	main	session_Id	<input type="checkbox"/>
6	user_Id	main	user_Id	<input type="checkbox"/>
7	ファイル名	main	ファイル名	<input type="checkbox"/>
8	取引先	main	取引先	<input type="checkbox"/>
9	取引先責任者	main	取引先責任者	<input type="checkbox"/>
10	送信先	main	送信先	<input type="checkbox"/>
11	金額	main	金額	<input type="checkbox"/>

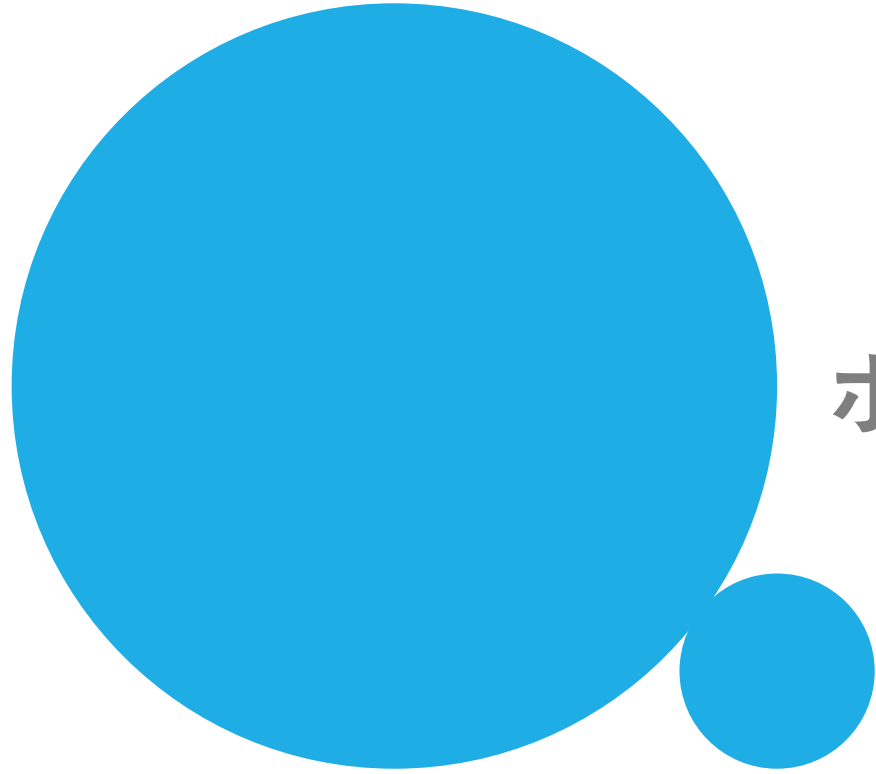
一覧に戻る

自動マッピング

保存 配備





自動マッピングをクリックすると、
Workフィールドとデータフィールド名を一致させます。

- 「自動マッピング」をクリックしてください。
- 「配備」 ボタンをクリックします。



ボタン作成

ボタン作成

マッピング名	タグ	配備状況	データソース	アクション	APIサンプル
(フィルター)		(フィルター)	(フィ) ▾		
drive_sample_import202308090934		配備済み 2023/08/09 14:10	Salesforce	    	APIサンプル



出力スクリプトサンプル (Salesforce連携)

サービス

D3Worker ▾

形式

PDF ▾

アップロード

☐ CSVオブジェクトを使用している

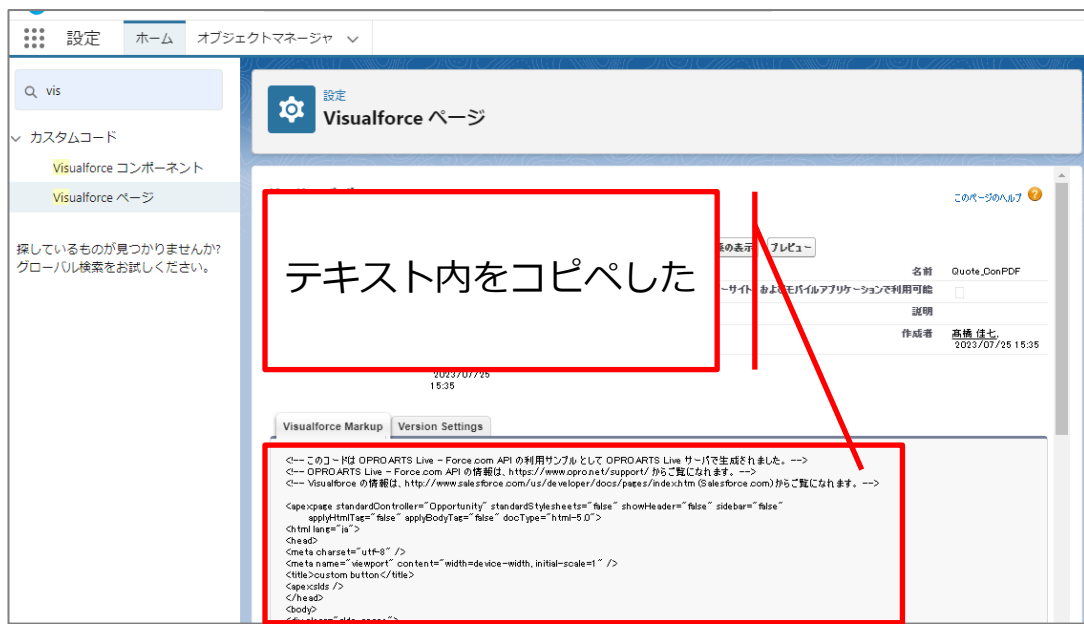
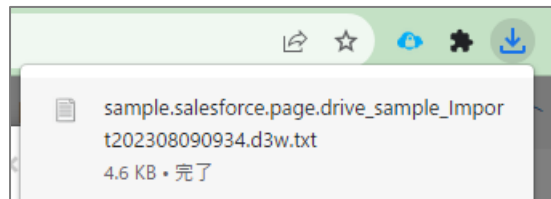
Visualforceページ

Onclick JavaScript

キャンセル

1. マッピングの「APIサンプル」をクリックします。
2. 「サービス」で「D3Worker」を選択します。
3. 「Visualforceページ」ボタンをクリックします。
 1. クラシック画面をお使いの方など、適宜「Onclick JavaScript」をダウンロードいただいても構います。

ボタン作成



1. テキストファイルがダウンロードされますので開きます。

2. Salesforceの設定から「Visualforceページ」を開き、新規作成します。1テキストの内容をコピーしてページを作成してください。

- このテキストは詳細ページから出力するためのコードです。リストビューページにボタンを置く場合はサポートサイトの記事をご覧ください。

- Lightning Experienceのリストビューページ用 ボタン作成 (ViewFramer)

ボタン作成

設定 > オブジェクトマネージャ

商談

詳細

項目とリレーション

ページレイアウト

Lightning レコードページ

ボタン、リンク、およびアクション

コンパクトレイアウト

項目セット

オブジェクト制限

レコードタイプ

条件

商談 アクション
新規アクション

アクション情報を入力

保存 キャンセル

オブジェクト名 商談

アクション種別 カスタム Visualforce

Visualforce ページ 見積書(Con-PDF) [Quote_ConPDF]

高さ 250 ピクセル

標準の表示ラベル種別 --なし--

表示ラベル 見積書Drive配信

名前 Drive

説明

アイコン ⚡ アイコン変更

保存 キャンセル

1. 主オブジェクトの設定画面から「ボタン、リンク、およびアクション」を開きます。

- リストビューにボタンを置く場合は以下の記事のボタン設定の手順に沿ってください。
- [Lightning Experienceのリストビューページ用ボタン作成 \(ViewFramer\)](#)

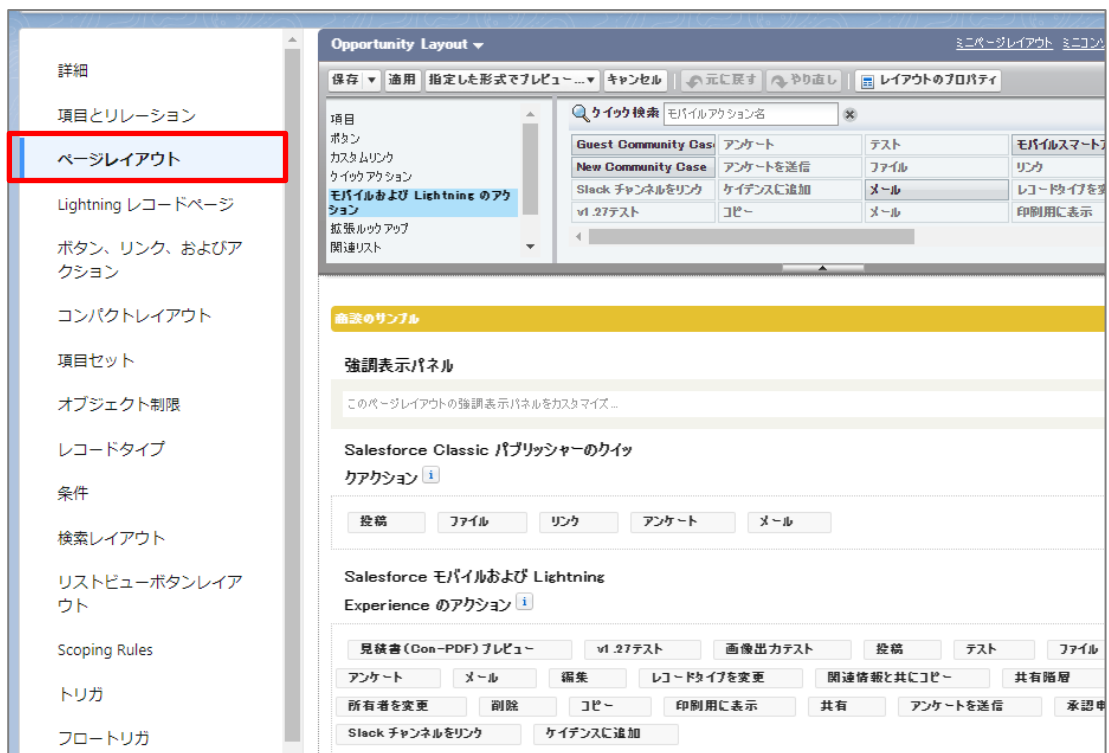
2. 新規アクションで以下の通り設定します。

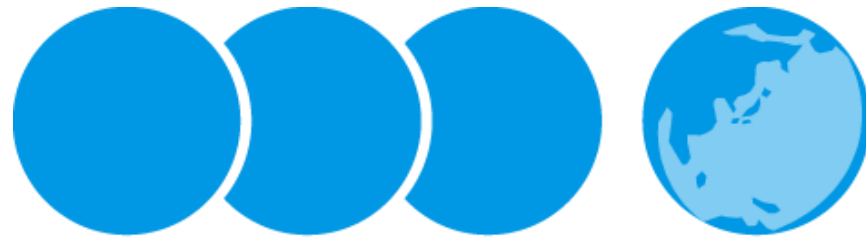
1. アクション種別：カスタムVisualforce
2. Visualforceページ：前ページで作成したページ
3. 表示ラベル：任意（ボタン名）
4. 名前：任意（システム名）

3. 保存をする。

ページに置く

1. ページレイアウトにボタンを表示します。
2. 「モバイルおよびLightningのアクション」から作成したボタンを選択しレイアウト上に置きます。
3. 保存します。





Less is More.